平だより

発行　川崎市立平中学校
学校新聞　第５号
発行日　令和６年 10 月 01 日

平中での学び　～心の成長に期待～

校長　原田　佐由利

修繕に時間がかかっていた正門の掲示板が復活しました。その近くにはプランターが並んでいます。市制１００周年＆全国都市緑化フェアの開催を契機に学校で育てている花の苗は、毎朝生徒から水と笑顔を注がれすくすくと育っています。花は百日草（ジニア）で、花言葉は「いつまでも変わらない心」「絆」「遠く友を思う」「幸せ」等です。時間がたっても変わらない人との強い結びつきを連想させる百日草、まだ蕾ですが開花が楽しみです。

平中学校では数年前より、自分の大切さとともに他の人の大切さを学び、それが様々な場面で具体的に態度や行動に現れるようにすることをねらいとする人権教育に力を入れ、生徒の心を耕しています。その一つとして、継続して行っている出前授業があります。先日は１年生が CAP プログラム（子どもへの暴力防止プログラム)、　２年生は性の多様性の授業を行いました。３年生には卒業時に性暴力（デートＤＶ）についての授業も計画されています。成人年齢が１８歳となり、生徒の多くは学生のうちに成人となります。このことは、「学ぶことは覚えること」から「考えることが学びとなる」と学校教育をも大きく変化させています。義務教育である中学校での役割として「生徒主体で考えるという機会をつくること」がこれからを生き抜く力として重要であると考え、本校で実践している学びの一つです。

先日より川崎市中学校総合体育大会が開催され、各部活動での果敢に挑戦する生徒の姿があります。試合後の涙には、精いっぱい戦った、日々の練習にとりくんできた熱い思いがあふれ出たものでしょう。信頼する仲間、支えてきてくださったご家族への感謝する姿もありました。そして、見守る顧問の様子もありました。生徒・保護者・教職員の日頃からのつながりを感じられた温かな光景です。また、各中学校代表選手が競う駅伝の練習も始まりました。平中学校に係る皆様の応援が力となります。どうぞよろしくお願いいたします。

現在校舎には外壁塗装工事のため一面安全幕に覆われていて、教室から見る外の景色はどんよりした色合いですが、この学校だよりにあるように、生徒は心爽やかに多くの活動に取り組み学校生活を送っています。一人ひとりが百日草の花と同じ想いをもってくれることを願い、一緒に過ごしていく時間をうれしく感じています。

お知らせ

９月３日、本校第２代校長杉山和子先生がご逝去されました。杉山先生は、理科教育に力を注ぎ、平中学校には職員玄関前に大理石等６つの石（座ったことある生徒も多いはずのあの石）を寄贈してくださっています。また、今年の４月６日には、ご家族と一緒に来校し、生徒のみなさんが活動している様子をスロープから見学されていたとお聞きました。平中学校を愛してくださっていたことを感謝申し上げるとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

学校長　原田　佐由利

8/26 市総体開会式　とどろきアリーナ

9/6 川崎市100周年記念活動　校庭

9/10 大根種まきwith懇話会　自然観察林にある畑